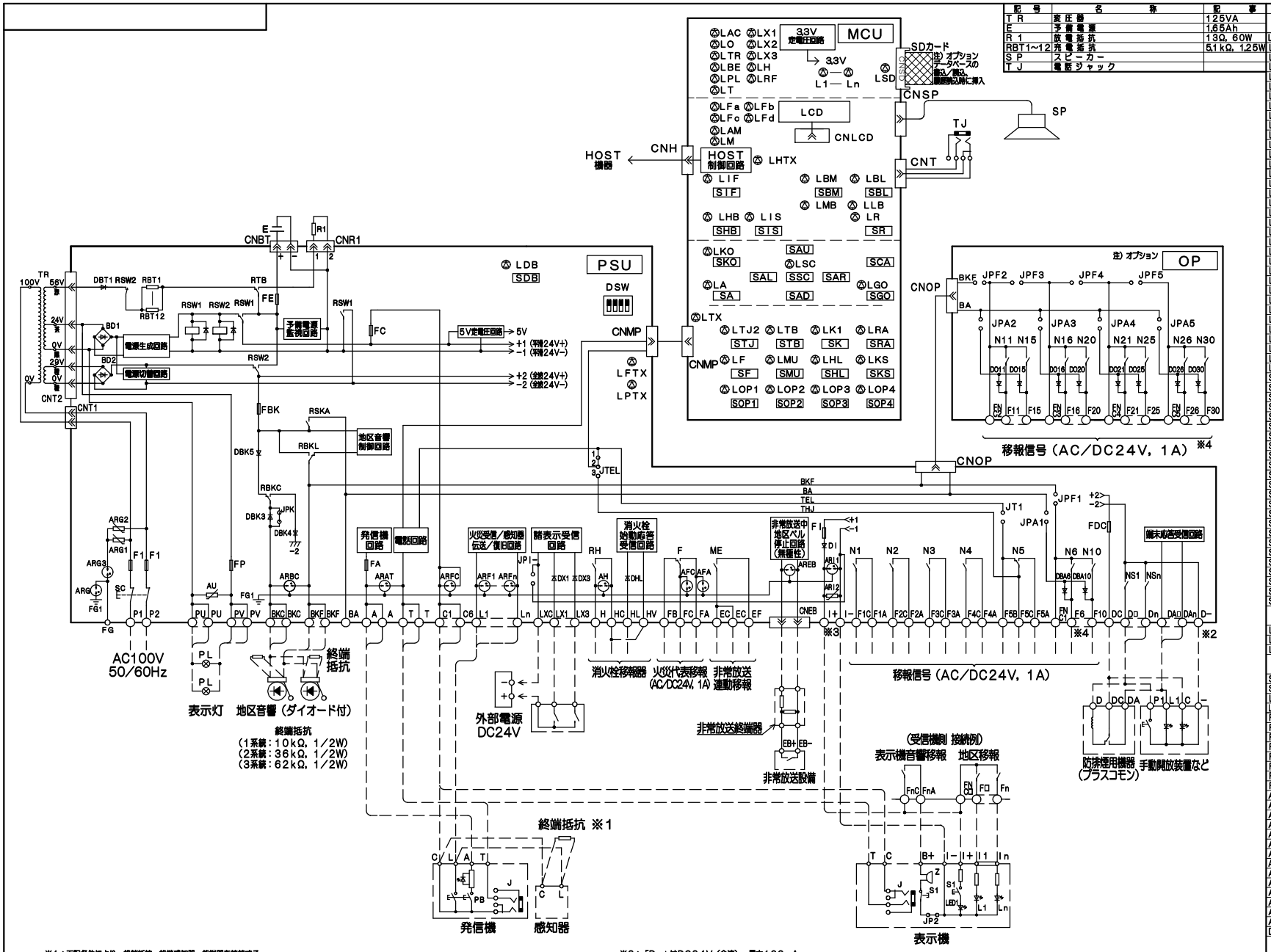

記号	名称	記事
TR	変圧器	125VA
E	予備電源	1.65Ah
R1	放電抵抗	13Ω，60W
RBT1～12	充電抵抗	5.1kΩ，1.25W
SP	スピーカー	
TJ	電話ジャック	

記号	名称	記事
MCU基板（扉裏面）		
LCD	グラフィック液晶	LCD 2.4型
LAC	交流電源灯	LED 青緑
LO	スイッチ注意灯	〃 赤
LTR	異常灯	〃 黄
LBE	非常放送灯	〃 赤
LPL	操作無効灯	〃 赤
LT	電話灯	〃 赤
LX1～3	断表示灯	〃 赤
LH	消火栓灯	〃 赤
LRF	連動用感知器灯	〃 赤
LFa～d	火災灯	〃 赤
L1～n	地区灯	〃 赤
LAM	蓄積中灯	〃 赤
LM	発信機灯	〃 青
LIF	ガイドスイッチ灯	〃 赤
LBM	この機器の音を止める（音響停止）スイッチ灯	〃 赤
LBL	館内のベル音を止める（地区音響停止）スイッチ灯	〃 赤
LMB	この機器の音 連続停止（保守音響停止）灯	〃 赤
LLB	館内のベル音 連続停止（保守地区音響停止）灯	〃 赤
LHB	メニュー（保守）スイッチ灯	〃 赤
LIS	一括遠断スイッチ灯	〃 赤
LR	復旧スイッチ灯	〃 黄
LKO	防排煙起動スイッチ灯	〃 赤
LA	地区音響一斉鳴動スイッチ灯	〃 赤
LSC	設定／確認スイッチ灯	〃 赤
LGO	実行スイッチ灯	〃 赤
LTJ2	火災・他試験スイッチ灯	〃 赤
LTB	予備電源試験スイッチ灯	〃 赤
LK1	蓄積解除スイッチ灯	〃 赤
LRA	自動／試験復旧スイッチ灯	〃 赤
LF	火災代表遠断スイッチ灯	〃 赤
LMU	非常放送遠断スイッチ灯	〃 赤
LHL	消火栓遠断スイッチ灯	〃 赤
LKS	防排煙遠断スイッチ灯	〃 赤
LOP1～4	オプションスイッチ灯	〃 赤
SBM	この機器の音を止める（音響停止）スイッチ	押しボタンスイッチ
SBL	館内のベル音を止める（地区音響停止）スイッチ	〃
SHB	メニュー（保守）スイッチ	〃
SIS	一括遠断スイッチ	〃
SR	復旧スイッチ	〃
SKO	防排煙起動スイッチ	〃
SA	地区音響一斉鳴動スイッチ	〃
SSC	設定／確認スイッチ	〃
SAU	↑（上）スイッチ	〃
SAD	↓（下）スイッチ	〃
SAL	←（左）スイッチ	〃
SAR	→（右）スイッチ	〃
SCA	戻るスイッチ	〃
SGO	実行スイッチ	〃
SIF	ガイドスイッチ	〃
STJ	火災・他試験スイッチ	〃
STB	予備電源試験スイッチ	〃
SK	蓄積解除スイッチ	〃
SRA	自動／試験復旧スイッチ	〃
SF	火災代表遠断スイッチ	〃
SMU	非常放送遠断スイッチ	〃
SHL	消火栓遠断スイッチ	〃
SKS	防排煙遠断スイッチ	〃
SOP1～4	オプションスイッチ	〃
MCU基板（盤内）		
LTX	伝送灯	LED 緑
LHTX	伝送灯	〃 緑
LSD	SDカードアクセス中灯	〃 赤
PSU基板（背面）		
SC	電源スイッチ	
SDB	データベース設定スイッチ	押しボタンスイッチ
LDB	データベース設定灯	LED 赤
LFTX・LPTX	伝送灯	〃 緑
F1X2	ヒューズ	5A
FE	〃	5A
FC	〃	1A
FP	〃	1A
FA	〃	0.5A
FI	〃	1A
FDC	〃	2A
FBK	〃	1A
ARG	アレスタ	
ARG1～2	バリスタ	
ARG3	アレスタ	
AU	バリスタ	
ARBC	アレスタ	
ARAT	〃	
ARFC	〃	
ARF1～Fn	〃	
AH	〃	
AFC	〃	
AFA	〃	
AREB	〃	
ARI1	〃	
ARI2	バリスタ	
DSW	ディップスイッチ	4種
その他部品		

※1：下記条件により、終端抵抗、終端感知器、終端器を接続する。
（1）当該区線のP－AT感知器がアドレス30番以下の場合 ⇒ 終端抵抗（10kΩ，1/2W）を使用
・P－AT感知器のアドレスは30以下とする。
・終端抵抗（10kΩ，1/2W）を接続する。（終端抵抗で断線検出を行う）
（2）当該区線のP－AT感知器がアドレス31番以上で末端が一般型感知器や発信機の場合 ⇒ アドレス付終端器（アドレス60固定）を使用
・P－AT感知器のアドレスは59以下とする。
・区線の末端はアドレス付終端器（アドレス60固定）を接続する。
・終端抵抗は接続しない。（アドレス付終端器の伝送応答の有無で断線検出を行う）
（3）当該区線のP－AT感知器がアドレス31番以上で末端がP－AT感知器の場合 ⇒ 末端のP－AT感知器アドレスを60に設定し、これを終端感知器として使用
・P－AT感知器のアドレスは60以下とする。
・区線の末端となるP－AT感知器のアドレスを60に設定し、これを終端感知器とする。
・終端抵抗は接続しない。（終端感知器の伝送応答の有無で断線検出を行う）

※2：「D－」はDC24V（全波），最大100mA。
常時通電する機器に使用可。
※3：I±電流はDC24V（平滑）で表示機以外にも使用可能。
ただし、常時通電する機器には使用不可。使用可能電流は回線数、表示機接続台数、P－AT感知器接続数による。詳細は施工説明書を参照。
※4：無電圧a接点、またはジャンパー設定により地区音響区分鳴動端子として使用可能。

注）「P－AT感知器」はP型受信機に接続可能な試験機能付き感知器の略称です。

施工説明書はURLまたは右の二次元コードで参照できます。
https://www.nohmi.co.jp/shoninzu/003/003-005.html

型名	最大回線数（地区窓数）	最大防排煙回線数（防排煙端子）	移報点数（OP基板 有無）
FCSJ107S－R－10L	10	5（D/DA 6～10）	10（無）
FCSJ107S－R－10LT	10	5（D/DA 6～10）	30（有）
FCSJ107S－R－15L	15	10（D/DA 6～15）	10（無）
FCSJ107S－R－15LT	15	10（D/DA 6～15）	30（有）
FCSJ107S－R－20L	20	10（D/DA 11～20）	10（無）
FCSJ107S－R－20LT	20	10（D/DA 11～20）	30（有）

FCSJ107Sシリーズ
P型1級複合火災受信機
総合回路図

発行	第1技術部火報管理課	縮尺	χ
図番	C801877		⟨0⟩

能美防災株式会社